

消費者の皆さまへ

宮城県

宮城県では、市町村やJA、農産物直売所、魚市場などの関係機関の協力を得ながら県産農林水産物の放射性物質検査を実施しており、安全が確認できたものだけを出荷・水揚げしております。

また、関係機関等においては、自主検査も実施しており、流通品の安全確認を行っております。

「食材王国みやぎ」の美味しい農林水産物をどうぞ安心してお召し上がりください。



宮城県知事 村井 嘉浩

- ▶ 平成28年度は、精密検査5,427点（242品目）、スクリーニング検査26,073点（137品目）、合計31,500点（286品目）検査し、基準値（一般食品100Bq/kg、原乳50Bq/kg）を下回っていることが確認できたものを出荷しています。
検査を実施した主な品目は次のとおりですが、平成29年度も国の指示に基づく検査を適切に実施し、食の安全の確保を図ってまいります。

◆農産物…131品目、2,587点検査実施

穀類：米、大麦、小麦、大豆、夏そば、秋そば

野菜類：いちご、きゅうり、キャベツ、じゃがいも、だいこん、たまねぎ、トマト、なす、ねぎ、はくさい、ほうれんそう など

果実類：うめ、かき、日本なし、もも、りんご など

◆林産物…48品目、1,717点検査実施

きのこ類：原木しいたけ（露地）、菌床しいたけ、菌床なめこ、菌床まいたけ など

山菜類：くさそてつ（こごみ）、たけのこ、たらめ、葉わさび、ふき、ふきのとう、わらび など

◆畜産物…2品目、25,230点検査実施

原乳、牛肉（全頭検査）

◆水産物…105品目、1,966点検査実施

海産魚種：アイナメ、アサリ、カツオ、カレイ類、スルメイカ、ヒラメ、ブリ、マアナゴ、マサバ、マダラ、養殖ギンザケ、養殖マガキ、養殖マボヤ、養殖ワカメ など

内水面魚種：アユ、養殖イワナ、養殖ニジマス、ヤマメ など

（50音順）

- ▶ 県のホームページには、平成23年3月から実施した全ての検査結果を掲載しております。

「放射能情報サイトみやぎ」 <http://www.r-info-miyagi.jp/r-info/food/>

※地図上で産地毎の検査結果が確認できます。

「県食産業振興課」 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/syokushin/nuclear-index.html>

※Excel表で必要なデータの抽出ができます。

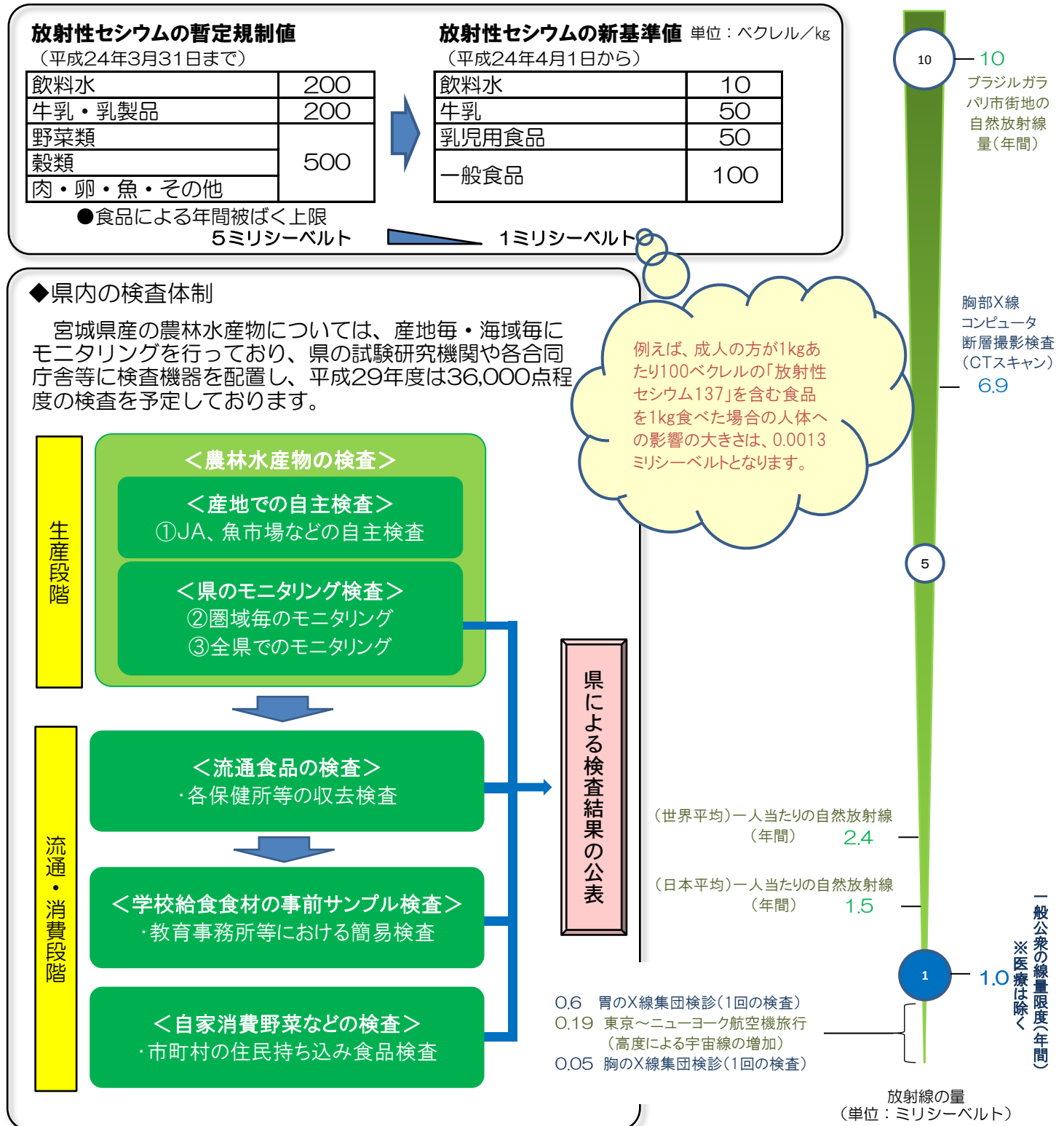


食品の安全と安心の確保のための取組

◆基準値について

従来の暫定規制値に適合している食品は、健康への影響はないとされてきましたが、より一層、食品の安全と安心を確保するため、放射性物質を含む食品からの被ばく線量の上限を年間5ミリシーベルトから年間1ミリシーベルトに引き下げ、これをもとに新たな基準値が設定されました。

県では、新しい基準値に基づく検査体制を整え、生産や流通などそれぞれの段階で検査を行い、安全性を確認しております。



<お問い合わせ先>

宮城県農林水産部食産業振興課食産業企画班 電話022-211-2814

